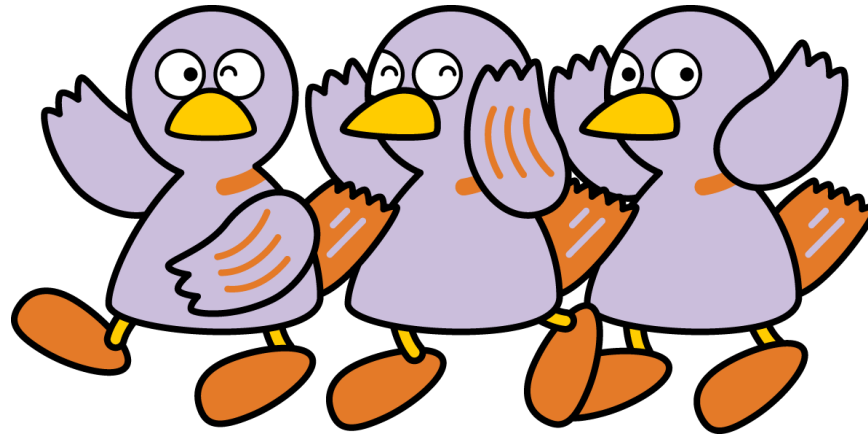


【埼玉県】

ピアサポートって何だろう？

～埼玉県障害者ピアサポート研修事業について～



埼玉県福祉部障害者支援課

* 自分らしく生きていくこと

- ・ 障害のある人たちもいきいきと自分らしく生きていくことを望んでいます。
- ・ しかし、障害のある人たちは、大きな困難や病気、障害による生きづらさを経験することがあります。
- ・ このような障壁を乗り越えて、**自分らしく生きるその道のりをリカバリー（生き方の再発見）と言います。**
- ・ 大きな困難や病気、障害にばかり目を向けるのをやめて、自分のできること、好きなことなど長所や強みを生かします。
- ・ 夢や希望を諦めずに生きていきます。
- ・ リカバリーにとって大切なことのひとつにピアサポート（仲間との支え合い）があります。

＊ピアサポートとは…

- ピア(peer)とは、「同じ立場にある仲間」という意味です。
- ピアサポートとは、同じ立場にある仲間との支え合いのことです。
- 障害者のピアサポートは、同じ立場や課題を経験してきたことを活かして、仲間として支えることです。
- ピアサポートをしている人をピアサポーターと呼びます。
- **ピアサポーターは、仲間の困難や苦しみに、自分の経験を元に寄り添います。**
- **ピアサポーターは、夢や希望を共有し仲間のリカバリーを信じる存在です。**

* 多様なピアサポート

ピアサポートには多様な活動があります。

例えば

- ①ちょっと集まってお茶をしたり、どこかに一緒に出掛けること。
- ②仲間が集まって学習会や相談活動を行うこと。
- ③通院先や通所先で自分の経験を活かしてボランティアとして活動すること。
- ④お金をもらって仕事として行うピアサポートもあります。

* ピアサポートの専門性

- ピアサポーターの活動は広がり、障害福祉サービス等の事業所で働くことが期待されています。
- 仕事として働くピアサポーターには、ピアサポーターとしての専門性が求められます。
- 例えば、人をサポートするためにはよいコミュニケーションが欠かせません。守秘義務も発生します。

→ **ピアサポーターとしての専門性を身につけるためには研修が必要です！**

厚生労働省障害者ピアサポート研修事業

厚生労働省は、令和2年3月に、障害福祉サービス等におけるピアサポートを担う質の高い人材を確保する観点から、新たに「障害者ピアサポート研修事業実施要綱」を定めました。

【研修の目的】

自ら障害や疾病の経験を持ち、その経験を活かしながら、他の障害や疾病のある障害者の支援を行うピアサポーター及びピアサポーターの活用方法等を理解した障害福祉サービス事業所等の管理者等の養成を図ることにより、障害福祉サービス等における質の高いピアサポート活動の取組を支援すること。

埼玉県とさいたま市は、特定非営利活動法人埼玉県相談支援専門員協会に委託して、埼玉県障害者ピアサポート研修事業を令和3年から実施しています。

ピアサポーターと管理者・職員が一緒に学ぶ、協働する、チームで支援

自ら障害や疾病の経験を持ち、その経験を活かしながら、他の障害や疾病のある障害者の支援を行う **ピアサポーターの養成**

+

ピアサポーターの活用方法等を理解した障害福祉サービス事業所等の **管理者等の養成**



障害福祉サービス等における質の高いピアサポート活動の取組を支援すること。